



# 静岡 陸協 会報

第 15 号 (2013年 9 月14日 発行)  
一般財団法人  
静岡陸上競技協会  
〒420-8508  
静岡市葵区鷹匠 1-14-31  
吉野寿ビル 2 F  
TEL・FAX 054-253-9801



静岡陸上競技協会  
会長 和田隆保

### 就任のご挨拶

四月から会長に就任しました。理事長の時には大変お世話になりました。皆様のお陰をもちまして無事終えることができました。ありがとうございます。

一般財団法人化をはじめ数々の改革を為された鈴木修前会長が三月に退任されました。大変お忙しい中、協会運営にご尽力いただきまして心より御礼申し上げます。今後も顧問として残っていたいただけたらと思います。今回の法人化により会長は代表理事になります。また改革により会長は原則として西、中、東部陸協の持ちまわりとなり、任期は三期六年と決められました。現在は西部陸協が会長を担当しておりますので、残りの二期四年の会長をやらせていただきます。何分力不

足ではありませんが、良い形で無事中部陸協へお渡しできますよう頑張ります。

このところ静岡陸協も少しずつ元気を取り戻していると思います。陸上王国を夢みて奮闘しているのですが、他の競技においても大いに発展、充実の努力がされ、それぞれの勢力の拡大にも著しいものが見られます。今後陸上競技の存在感を維持するためにも、六十有余年の陸協の歴史の重みを感じつつ、常に組織の活性化を図り、明朗な運営をもって、定款に書かれた目的を達成すべく努力をしていきたいと思えます。

私は前会長をはじめ歴代会長のような社会的地位はありませんし競技者としての輝かしい実績もございません。ただ、誰にも負けない静岡陸上への熱い思いだけは持っているつもりです。現場に立って会員皆様の声を聞き、共に汗を流していく所存です。どうかお一人お一人が「自分達の陸協は自分達で運営していくのだ」という気持ちで協力ください。よろしくお願いいたします。



静岡陸上競技協会  
理事長 鳥井啓市

### 就任のご挨拶 並びに前期事業報告

和田隆保前理事長の後任として、本年四月より静岡陸上競技協会理事長に就任致しました鳥井でございます。どうぞよろしく願い申し上げます。

輝かしい歴史と伝統を誇る静岡陸上競技協会の雄姿。その活動を日々支えてこられた歴代理事長の皆様。ことに、その采配が見事であられた和田前理事長。比べて、後塵を拝する私とは言えあまにも若輩者にて。この現状を思えばまさに暗中模索ではありますが、鈴木修前会長、和田隆保会長の指導を仰ぎつつ、会員の皆様と共に一歩ずつ、確実に前進できるよう、誠心誠意務めて参りたく思えます。今後とも、変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

では、四月から七月までの前期事業報告をさせていただきます。

日本平桜マラソン(4/5)から県中学通信(7/20・21)まで予定通りに実施できました。前期最大の行事であります日本グランプリ第四戦、第二十九回静岡国際陸上(5/3・エコパ)男子二〇〇mで飯塚翔太君(中央大)が20秒21(日本歴代三位・日本学生新)の快走を見せ優勝。世界陸上(8/10・18・モスクワ)への出場権を手中にすると共に、一万人を超す観衆を大いに魅了した大会

となりました。

また、その他のグランプリ大会において、スズキ浜松ACの村上幸史君(男子やり投)・海老原有希さん(女子やり投)・右代啓祐君(十種競技)が優勝(標準記録突破)し、世界陸上出場を決めました。本県出身の高瀬慧君(富士通二〇〇m)・佐藤悠基君(日清食品グループ一〇〇〇m)も標準記録を突破し、出場権を得ました。いずれの選手も昨年のロンドンオリンピックに出場しており、海外試合の経験も多いことから世界選手権での活躍に期待を寄せたいところです。

県高校総体(5/24・26・エコパ)は、男女共に浜松市立高校が総合優勝を果たしました。東海大会(6/21・23・三重)では、個人種目(男子34名、女子37名)・リレー種目(男子四チーム、女子六チーム)が全国大会に駒を進めました。中でも、特に期待が高まるのは、現ランキングトップを誇る男女の四〇〇m、女子総合優勝も視野に入る浜松市立高校の走り、ということになると思われます。

第九十七回日本選手権(6/7・9・東京)では、杉浦はる香さん(浜松市立高)が女子四〇〇mで優勝(52秒52はジュニア日本新・高校新)を果たしました。高校生では唯一の優勝者であり、他の五種目をも制する大活躍を見せてくれました。本年の県内選手権の記録は、その殆どが日本ランキング上位にありました。よって九名の選手が日本代表として第二十回アジア陸上選手権(7/3・7・インド)第二十七回ユニバーシアード(7/7・12・ロシア)第八回世界ユース陸

上(7/10)ウクライナ)の各大会に出場しました。

アジア大会では高瀬慧君(富士通)が二〇〇mで三位、四〇〇m Rで二位(三走)、武田毅君(スズキ浜松A C)が三〇〇m S Cで三位、中村明彦君(スズキ浜松A C)が十種競技で二位、萩原歩美さん(ユニクロ)が一〇〇〇mで三位とそれぞれに大活躍。ユニバーシアード大会では飯塚翔太君(中央大)が二〇〇mで三位、四〇〇m Rで二位(四走)と快足ぶりを披露。世界ユース大会では松本奈菜子さん(浜松市立)が四〇〇mで六位、溝田桃子さん(伊豆中央)が五〇〇m Wで二位、油井快晴君(浜松市立)が男子メドレーR(四走)で三位、女子メドレーRでは藤森菜那さん(浜松市立・二走)と松本奈菜子さん(浜松市立・四走)が三位に入る等々、それぞれの大会において期待通りの好成績を収めてくれました。

中学生は第二十八回中学選抜(7/6・エコパ)、第五十九回県中学通信陸上(7/20)21・草薙)において男子52名、女子31名が標準記録を突破し、八月に愛知県で開催される全国中学陸上への出場を決めました。

また、第六十八回静岡陸上選手権(7/14)15・草薙)の会場において、例年通り県陸協顕彰表彰を行い、鈴木修前会長、勝又瑛逸前副会長、山下昌彦前副会長に特別功労賞表彰を授与すると共に、永年勤続功労者(5名)、功労者(6名)、日本記録樹立者(2名)、優秀選手(8名)に和田会長より賞状・記念品を贈呈致しました。その他、顕彰規定により各地区

で78名の審判員を表彰させていただきました。

前期日程を終了した今、改めて思い巡らすことは、「協会の歩みを止めてはならぬ」この一点にて駆け抜けてきたように思われます。この間、休日を厭わず競技運営に携わってくださいました会員の皆様には衷心より御礼申し上げます。八月以降も全国総体・世界陸上と続き、県内においても多くの大会が開催されます。会員の皆様におかれましては健康に留意され、各種大会に役員・審判員としてさらなるご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではありますが、重ねて二点ほど報告致したい件があります。

一つは、昨年度来、日本学生競技連合より要請がありました全日本大学女子選抜駅伝競走の実施が、関係各位の尽力により、本年十二月二十三日(天皇誕生日)と正式に決定致しました(フジTV放映)。東部陸上競技協会を情報の窓口として、各団体と綿密な連絡を取りながら準備を進めております。周知のごとく駅伝競走の人気は高く、前期の静岡国際陸上に続く後期の大きな事業となり、全国から注目される大会になること必至、ならばこそ皆様のご協力を切にと願う所です。

今一つは、諸事情により参加を見合わせておりました東日本女子駅伝の件ですが、東北陸協より東北復興催事の 일환として是非にもと、再三の出場依頼が届いております。検討に検討を重ね、今年度に関しては鈴木修前会長のお力添えがあり、スズキ浜松A Cの全面的な協力も

得られることから、参加することを決定致しました。関係各位のご協力を重ねてお願い致します。

### 第二十九回静岡国際陸上

飯塚選手(中央大、藤枝明誠高校出)

モスクワ世界陸上派遣記録突破

五月三日、第二十九回静岡国際陸上競技大会は、静岡エコパスタジアム(袋井市)で行われ男子二〇〇mの飯塚翔太選手が20秒21(大会新・県新)の好記録で初優勝した。この記録は、日本陸連派遣設定記録を突破し、昨年のロンドン五輪に続いて、世界の舞台での活躍が期待される。

国際陸上、本県勢の成績

〇男子二〇〇m

五位 鈴木義啓選手(スズキ浜松A C) 21秒22



〇男子四〇〇m

三位 横山直広選手(中央大浜西出) 47秒15

四位 伊藤卓選手(大東大浜名出) 47秒46

五位 袴田千尋選手(スズキ浜松A C) 47秒76

〇男子四〇〇m障害

四位 中村明彦選手(スズキ浜松A C) 50秒62

六位 天野裕太選手(静岡陸協) 51秒27

### 県選手権大会

第六十二回、静岡県陸上競技選手権大会兼東海選手権予選会兼国体予選会は七月十四・十五の二日間、県草薙陸上競技場で開催した。

一日目は、男女二十種目の決勝を行った。男子二〇〇mは伊藤卓選手(大東大)は21秒39の自己新で初栄冠、女子は鈴木知沙選手(浜松商業高校)が24秒72の記録で優勝した。走り幅跳びは松原奨選手(東海大)が二年ぶりに7m66の自己新記録で選手権三回目の優勝を果たした。女子は水野舞音選手(菊川南陵高校)が5m49で優勝、同記録ながら二位に三浦菜穂選手(静岡東高校)が並んだ。男子四〇〇m障害は横川涼介選手(東洋大)51秒59で優勝、女子は山崎育美選手(福岡大)二年ぶりに頂点に立った。男子四〇〇mリレーは東海大チームが昨年に続き優勝した。また同種目予選ではスズキ浜松A C・イサシTCが大会新記録を出している。女子は浜松市立高校チーム



が46秒67の安定した走りで優勝した。  
二日目最終日は男女二十一種目の決勝を行った。男子二〇〇mは畠山純選手(スズキ浜松AC)が10秒51で今回頂点に立ち、女子は渡辺ひかる選手(富士市立

高校)が11秒99の記録で初優勝した。また同記録で二位に高山真里奈選手が入った。男子一〇〇〇mは石井大輔選手(見次クラブ)33分27秒12で優勝、女子は星野芳美選手(eA静岡)が37分34秒04で二年連続十回目の優勝をした。一六〇〇mリレー男子は浜名高校チームが3分14秒00、大会新記録で優勝、女子は浜松市立高校チームが3分48秒75で、前日の四〇〇mリレーと合わせて二種目で四連覇を果たした。

### 東海高校総体・三重で開催

六月二十一日から三日間、三重県営総合競技場・陸上競技場で開催。

一日目、男子ハンマー投げ、浜松城北高校の森大輝選手が63m10の記録を出し、大会新・県高校新で優勝、女子砲丸投げは浜松工業高校の末次里穂選手(12m24)が優勝した。四〇〇mは、男子が浜名高校の加藤修也選手(46秒62)大会新で優勝、浜松市立高校の沖井快晴選手(46秒83)が第二位、また女子は浜松市立高校の杉浦はる香選手(53秒66)が大会新で優勝。同種目二位・三位も浜松市立高校の松本・建部の両選手が入り、本県勢が上位を占めた。

二日目、男子一〇〇mは韭山高校の日吉克実選手が10秒59で優勝。同四〇〇mは東海大翔洋高校チームが41秒12で初優勝した。また男子四〇〇m障害は浜松市立高校の中野竜平選手(準決では大会新52秒02)が優勝、走り高跳びでは同校山内郁哉選手が2m07で頂点に立った。棒高跳びは、5mをクリアした富士宮北

高校の高橋義貴選手が同記録(優勝決定戦)で二位となった。女子一〇〇mは静岡市立の松本沙那子選手が11秒95で初優勝。同八〇〇mは浜松市立の松本奈菜子選手が2分11秒04で連続優勝した。

三日目最終日、男子二〇〇mは日吉克実選手が21秒19の記録で一〇〇mに続き二種目を制した。フィールド競技は浜松西高校の中津川瑞樹選手が三段跳び(15m02)・浜松城北工業高校の赤間祐一選手が砲丸投げ(16m09)・駿河総合高校の望月雄太選手がやり投げ(61m26)でそれぞれ優勝を果たした。女子二〇〇mは浜松市立高校の杉浦はる香選手が24秒06で、四〇〇m・リレー二種目と四冠に輝いた。

### 県中学総体陸上

七月二十二日、第六十六回静岡県中学校総合体育大会(陸上競技の部)兼全日本中学通信陸上静岡大会兼東海地区中学校体育大会二次予選会が静岡草薙陸上競技場で開かれた。

一日目、男女十七種目の決勝を行った。男子は三年一〇〇mは山中翔平選手(裾野富岡中学)が11秒08で優勝。一年一五〇〇mは小沢大輝選手(裾野深良中学)が4分22秒32を出し優勝、同種目二位の岩城亮介選手(函南中学)も4分22秒63で大会新記録をマークした。共通棒高跳びは浜松天竜中学三年の窪田大輝選手が4m32の自己新記録で頂点に立った。女子三年一〇〇mは渡辺菜月選手(清水四中学)が12秒44で優勝。共通一五〇〇mは田中優名選手(長泉北中学



二年)が接戦のすえ4分35秒03で制した。共通走り幅跳びは静岡東中学二年の小野田史紗選手が5m72の自己新記録で優勝した。

二日目も男女十七種目の決勝を行っ

た。男子は共通二〇〇m山中翔平選手(裾野富岡中学三年)が22秒67で優勝、前日の一〇〇mと合わせ二冠を達成、女子は望月あん選手(富士南中学三年)が25秒72で優勝した。男子共通走り高跳びは野田卓広選手(浜松雄踏中学三年)が1m91自己新記録を出し制した。女子は秋山かおり選手(浜松江南中学二年)が1m57で優勝、また同記録ながら江頭凜選手(浜松北浜中学三年)が二位に入った。共通女子砲丸投げは増田奈緒選手(静岡賤機中学三年)が14m43で連覇した。男子共通四〇〇mリレーは磐田南部中学チームが43秒62の大会新記録で優勝、女子は静岡服織中学チームが50秒00で制した。

○男子総合

- 一位 裾野富岡中学 48点
  - 二位 浜松北浜中学 29点
  - 三位 富士須津中学 26.5点
- 女子総合
- 一位 静岡東中学 24点
  - 二位 富士南中学 22点
  - 三位 浜松南陽中学 22点

県すこやか長寿祭(マラソン)

五月十八日(日)静岡草薙陸上競技場で、三、五十km部門が行われた。

上位選手は次のとおり

○男子3kmの部

- 一位 鈴木淳一選手(三島市)
  - 二位 佐川正治選手(磐田市)
  - 三位 河西悦宏選手(清水区)
- 女子3kmの部
- 一位 池田征子選手(葵区)



- 二位 内田光子選手(駿河区)
  - 三位 種茂和子選手(磐田)
- 男子5kmの部
- 一位 清水 彰選手(中区)
  - 二位 山本保隆選手(掛川)
  - 三位 猪浦徹夫選手(駿河区)

○女子5kmの部

- 一位 松田玉貴選手(清水区)
  - 二位 八木さちよ選手(葵区)
  - 三位 滝とも子選手(焼津市)
- 男子10kmの部
- 一位 岩田忠義選手(三島市)
  - 二位 隅 章二選手(藤枝市)
  - 三位 増田昌康選手(島田市)
- 女子10kmの部
- 一位 榎原三智子選手(袋井市)
  - 二位 岩田えみ子選手(三島市)
  - 三位 鈴木弘美選手(葵区)

クラブチーム紹介

楽しく走って、友達つくろう

(チーム細江)

代表 藤田 通

チームが出来て十年以上がたちました。市町(村)駅伝の小学校・中学校選手育成のための練習会から始まり、走るのが大好きな小学校一年生から六年生までの子供たちが自然と集まり現在に至っております。

練習は浜松市都田公園芝生広場で火金土日曜日、及び水曜日は四ツ池公園陸上競技場において一時間〜一時間三十分ほど行っております。

週五日の練習日というと小学生においては随分多いと思われませんが、子供たちの多くは塾、スポーツ教室等、毎日を忙しく過ごしているものが多い実情です。練習日は、必ず参加しなければいけないという設定ではなく、その中で各人が参加できる日を決めて自由に練習に参加すればよいこととしております。少しでも時間を見つけて走りたいという小学生が自由に、都合のつく日時に参加出来れば良いと思っております。

小学生のうちから一競技にこだわらずに種類かスポーツに取り組み、その中から将来自分がさらに上を目指して真剣に取り組んでいける競技を見つけていかかと思っております。

ただ、走るのを続けていくうちにいつも一緒に走る多くのより良い友達、仲間



が出来、記録が伸び、参加する競技会で良い成績を収めることができるようになると練習へ参加するのが次第に楽しくなり、より真剣に取り組むようになってまいります。

当初、駅伝を目指した練習会から活動が始まった関係上、秋からのロードレース、各種の駅伝に参加することが活動の一つの大きな目標ともなっております。

昨年参加の駅伝の成績を上げれば、島田大井川リバイ駅伝(Aチーム優勝、Bチーム二位)、浜北森林公園駅伝(Aチーム優勝、Bチーム二位)、菊川ファン駅伝(Aチーム優勝、Bチーム二位)、中日駅伝競走(Aチーム優勝、Bチーム三位)、みをつくしふれあい駅伝(Aチーム優勝、Bチーム二位、Cチーム三位)、藤枝リバイ駅伝(Aチーム優勝、B

チーム六位」と出場駅伝大会はすべて優勝することができました。駅伝へのチームでの参加は子供たちにとって、友達と共にチームを組んで一緒に頑張るって走ろうという、チームワークの大切さを実感し、人間関係の育成の為にも良い成果が上がっていることと思っております。また、毎年、静岡県市町駅伝競走に参加したいという子供たちにとっては大きなぞして強い目標を持ち、浜松三チームの選手を目指し頑張っています。中学・高校と進んでもほとんどの者が競技を続けている実情をうれしく思っております。

(浜岡LDC)

LDC指導者 渡瀬 三男

私たち浜岡LDC（ロングディスタンスクラブ）は、御前崎市内の一般男子、一般女子、中学生、小学生が集まって活動している陸上クラブチームです。浜岡LDCは、平成十五年に発足し今年で十年目に入りました。一般男子、一般女子につきましては、市町駅伝で御前崎市の代表として活躍してくれています。一般男子においては五〇〇mを14分台に迫るタイムを出す選手がおりまして、日々のためまぬ努力が実を結んで結果を出し頼もしい限りです。

また、一般女子も、仕事と家事を両立しながら、ママさんランナーとして頑張ってくれている選手もおります。

私たちのクラブチーム名、浜岡LDC（ロングディスタンスクラブ）ですが、長距離走につきましては一般男女と中学生ですがメインの小学生は、基本方針と

して走らせることより「走る事の基本」「走るための体作り」「走る事を好きになるような練習」を日々の練習に取り入れています（専門的な走る事は中学、高校に進んでから取り組んでもらうとの考え）。

浜岡LDCの練習場所は非常にめぐまれています。浜岡総合グラウンド（全天候型）で（飯塚翔太選手が小・中学生時代に練習した場所でもあります）を使っ



B&Q、十二月末の納会時にお汁粉パーティー、年明けの走り始めでは、あま酒パーティー、など保護者の皆さんの協力のおかげで会員の親交が深まっています。

最後になりますが、浜岡LDCの子供たちも徐々にですが、参加する各大会で表彰台に上られるようになり、日々の練習が実を結んできている事を実感している次第です。

小さなクラブチームですが、子供たちが大きく羽ばたいてくれることを願っています。

陸連情報

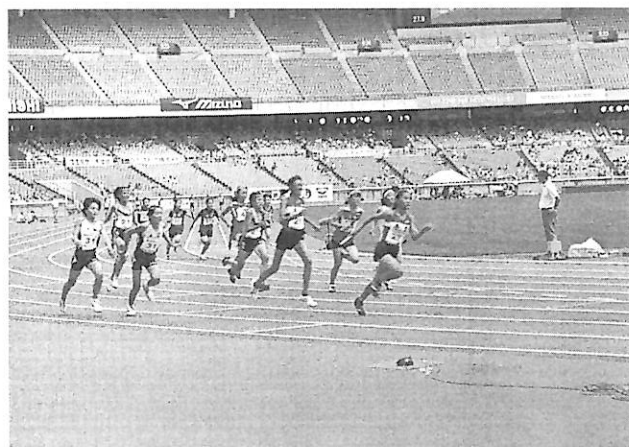
日本陸上競技連盟は六月十二日、イギリス、ダイヤモンドリーグ第七戦に、京都・洛南高校三年の桐生祥秀選手が出場することを発表した。今回、日本の高校生が出場（招待選手として）するのは異例中の異例という。四月の広島・織田記念国際陸上で出した男子一〇〇m 10秒01は非公認となったが、記録は有効で国際陸連ランキングには記載される。


桐生選手は六月三十日、イギリス・バーミンガム、ダイヤモンドリーグ第七戦、男子一〇〇mに出場。海外初レースとなり記録は10秒55と平凡に終わった。本人はいくつかの課題を残し、レースは平常心を失っていたとコメントした。また日本陸連の土江氏（男子短距離副部長）は才能ある選手にとっては通過点であり、貴重な経験をしたと語っていた。



第29回全国小学生陸上競技交流大会 静岡県選手団結果 日産スタジアム  
2013.8.24 横浜

男子	氏名	所属	決勝	入賞順位
6年100m	山田 正汰	伊豆長岡AC	-	-
5年100m	平野 智也	磐田陸上	-	-
56年80mH	中澤 航介	千代田AC	12.31(±0)	優勝
56年走幅跳	永田 和輝	小笠AC	-	-
56年走高跳	鈴木 智也	御殿場南	-	5位
56年ソフトボール投げ	山下 拓真	東伊豆TFC	-	-
56年4×100mR	①加茂 賢季	浜松河輪AC	49.48	優勝
	②河合信太郎			
	③川本 駿斗			
	④川嶋 陸			
	補:小林 脩平			
			友好レース100m	
女子	氏名	所属	決勝	入賞順位
6年100m	成生 茜	伊東陸上	-	-
5年100m	小杉 果穂	小笠AC	-	-
56年80mH	大橋 萌加	千代田AC	12.76(±0)	3位
56年走幅跳	川原ゆりか	千代田AC	-	7位
56年走高跳	竹内 里衣	浜北AC	-	-
56年ソフトボール投げ	土屋 晴美	千本港SRC	-	-
56年4×100mR	①森下 奈々	浜松河輪AC	54.25	7位
	②木下 慶乃			
	③藤田奈津子			
	④松島 采音			
	補:鈴木 伶菜			
			友好レース100m	



2020年   
東京五輪・パラリンピック  
開催決定

# 編集後記

陸協機関紙「会報」は今回で第十五号の発行となります。四月から八月まで陸協関連の事業（競技会）は全て順調に消化しました。なかでも五月の静岡国際陸上、七月の静岡県選手権では好記録が続出し、また高校・中学・小学生の大会でも全国レベルに匹敵する選手も現れてきたと思います。一般では、本県から世界陸上選手権大会にも選手を送り出しました。

年度後半もこの追い風によって、大会に臨みたい。関係者の皆様のご支援もよろしく願います。

（広報）

〔編集〕

県陸協広報委員会・県陸協事務局

○橋本美智夫（編集・文責）

・水谷陽介（編集委員）

・片岡佳美（編集委員）

・矢邊進 ・内田光英

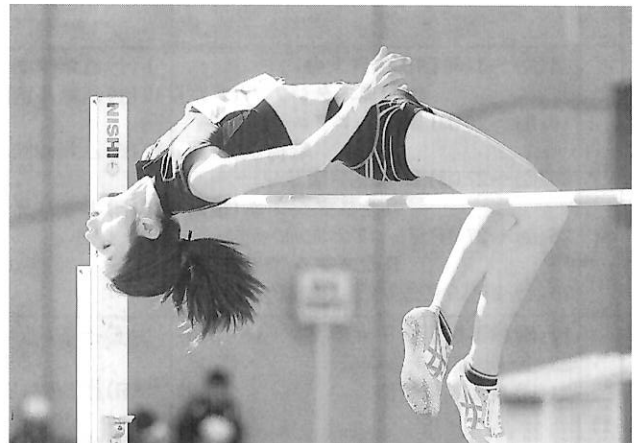
・亀山健士 ・山口丈男

・松井清和

○写真（陸協報道 大多和・橋本）  
（印刷・大目紙業㈱）

## Photograph

- 静岡国際陸上大会
- 静岡県選手権大会
- 静岡県中学総体大会
- 静岡県中学選抜大会
- 静岡県高校総体



# 静岡陸上競技協会 行事予定表

2013年 9 月～2014年 3 月

月	陸 連・東 海・国 際	県 陸 協・他	東・中・西部地区 主催・主管
9 月	6(金)～8(日)全日本マスターズ陸上(佐賀) 20(金)～22(日)全日本実業団陸上(熊谷)	8(日)県障害者スポーツ大会 (静岡草薙) 21(土)△県長距離強化記録会第3回 (小笠山エコバ) 21(土)小中学生陸上競技種目別 (静岡西ヶ谷) 28(土)・29(日)△県高校新人大会 (静岡草薙)	1(日)△静岡市小学生選手権 (清水) 7(土)△東部中学新人 (沼津愛鷹) 7(土)△中部中学新人 (静岡草薙) 7(土)・8(日)△西部中学新人(浜松四ッ池) 14(土)15(日)△県高校新人東部大会 (沼津愛鷹) 14(土)15(日)△県高校新人中部大会 (静岡草薙) 14(土)15(日)△県高校新人西部大会 (浜松四ッ池) 22(日)△秋季西部小学生陸上 (小笠山エコバ) 22(日)△第59回御殿場選手権 (御殿場) 28(土)△浜松地区中学新人(浜松四ッ池) 28(土)中部中学駅伝 (大井川) 29(日)△三島陸上記録会 (沼津愛鷹)
10 月	4(金)～8(火)国民体育大会 味の素スタジアム(東京) 18(金)～20(日)日本ジュニアユース選手権 瑞穂(名古屋) 25(金)～27(日)日本選手権リレー 日産スタジアム(横浜) 25(金)～27(日)ジュニアオリンピック 日産スタジアム(横浜) 26(土)・27(日)東海高校新人 瑞穂(名古屋)	5(土)△県中学新人陸上 (静岡草薙) 12(土)△県長距離強化記録会第4回 (小笠山エコバ) 13(日)△第42回小学生陸上選手権 (静岡草薙) 20(日)県マスターズ選手権陸上 (静岡草薙)	6(日)△静岡市高校新人陸上(静岡草薙) 12(土)東部中学駅伝 (裾野) 13(日)△東部強化記録会 (富士) 14(祝)△中部陸協記録会(3回) 兼定通制秋季 (静岡草薙) 19(土)西部中学駅伝 (小笠山エコバ) 20(日)△浜松市民スポーツ祭陸上 (浜松四ッ池) 26(土)△裾野市選手権 (裾野)
11 月	17(日)横浜国際女子マラソン (神奈川) 23(土・祝)国際千葉駅伝 (千葉) 24(日)東海高校駅伝 (三重)	2(土)△第4回エコパトラックゲームズ (小笠山エコバ) 3(日)男子第64回、女子第26回県高校駅伝 (小笠山エコバ) 4(月・振)県障害者秋季記録会 (静岡草薙) 9(土)県中学駅伝競走大会 (小笠山エコバ) 17(日)△県長距離強化記録会第5回 (小笠山エコバ) 30(土)第14回市町対抗駅伝 (静岡・清水)	2(土)△志太・榛原陸上 (焼津) 2(土)△第4回エコパトラックゲームズ (小笠山エコバ) 9(土)△中部陸協記録会(4回) (静岡草薙) 9(土)10(日)△東部混成競技記録会 (沼津愛鷹) 9(土)10(日)△第3回西部月例 (浜松四ッ池)
12 月	1(日)福岡国際マラソン (福岡) 7(土)・8(日)小学生クロスカントリー 万博記念公園(大阪) 15(日)全国中学駅伝 (山口) 15(日)全日本実業団女子駅伝 (宮城) 22(日)全国高校駅伝 (京都)	8(日)県陸上指導者講習会 (静岡草薙)	22(日)富士マラソンフェスタ (小山)
14 1 月	1(祝)全日本実業団駅伝 (群馬) 12(日)都道府県対抗女子駅伝 (京都) 19(日)都道府県対抗男子駅伝 (広島) 26(日)大阪国際女子マラソン (大阪)	13(月・祝)26年度要覧編成会議 (静岡草薙)	26(日)西部駅伝競走大会 (小笠山エコバ) 26(日)第20回御殿場駅伝競走大会 (御殿場)
2 月	1(土)日中交流ジュニア室内大阪 (大阪城ホール) 1(土)・2(日)日本ジュニア室内大阪 (大阪城ホール) 2(日)別大マラソン (大分) 9(日)千葉国際クロスカントリー 昭和の森(千葉) 16(日)日本選手権男女20km競歩(兵庫) 22(土)アジアクロスカントリー (福岡) 23(日)東京マラソン (東京)	16(日)第38回中日浜名湖一周駅伝 (館山寺) 22(土)△室内棒高跳湖西大会 (湖西) 23(日)△第10回浜松シティマラソン (浜松四ッ池)	2(日)伊東駅伝競走大会 (伊東) 9(日)富士宮駅伝競走大会 (富士宮) 16(日)第38回中日浜名湖一周駅伝 (館山寺) 22(土)△室内棒高跳湖西大会 (湖西) 23(日)△第10回浜松シティマラソン (浜松四ッ池)
3 月	2(日)びわ湖晦日マラソン (滋賀) 9(日)名古屋ウィメンズマラソン (愛知) 9(日)アジア選手権競歩能美 (石川)	2(日)△第39回静岡駿府マラソン (静岡) 23(日)審判講習会 (各地区別) (東部、中部) 30(日)審判講習会 (各地区別) (西部)	2(日)△第39回静岡駿府マラソン (静岡) 15(土)△静大春季サーキット (静岡草薙) 22(土)△東部強化記録会 (沼津愛鷹) 23(日)東部審判講習会 (沼津愛鷹) 23(日)中部審判講習会 (静岡草薙) 23(土)△中部スプリント記録会 (静岡草薙) 30(日)西部審判講習会 (小笠山エコバ)